

ロボット関連技術PRカード

1. 企業概要

会社名	株式会社ナイルワークス			代表者名	小嶋 康弘		
				窓口担当	岩熊 大輔		
事業内容	農業用ドローンの開発、製造、販売			URL	https://www.nileworks.co.jp/		
主要製品	農業用ドローン						
所在地	〒336-0032 埼玉県さいたま市南区四谷 3-9-29 (研究所)						
電話/FAX 番号	048-711-5575/-			E-mail	info@nileworks.co.jp		
資本金(百万円)	97	設立年月	2015年1月	売上(百万円)	-	従業員数	46

2. PR事項

『国産・全自動・可変散布対応※ スマート農業機』



誰もが、散布のエキスパート



高精度な自動飛行

RTK-GNSSや複数センサーから算出される位置情報により、正確に飛行します。バッテリー残量検知、障害物回避、異常時の返還まで、全自動です。



効率よくバッテリー交換

バッテリーは、素早く取り付け・取り外しができ、効率的に交換できます。充電器もコンパクトサイズで、充電スペースの場所もとりません。



液剤・粒剤散布

液剤・粒剤タンクは、簡単に交換できるので、手間がかかりません。機体は水洗いでき、汚れもスムーズに洗浄できます。



コンパクトサイズ

機体は折りたたみ式の構造で、手持ちできるサイズです。圃場への移動も便利で、保管・収納もコンパクトに収まります。



安心・安全

LTE網を経由して、飛行情報を監視サーバに送信しています。機体の状況、飛行経路、バッテリー残量、通信状況を把握し、サポートします。



Made in Japan

農業に特化し、国内で企画・製造。ハイスペックドローン開発コンソーシアムで開発された機体に、ナイルワークス独自の自動飛行技術を搭載しています。

本製品は、国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構(農研機構/NARO)が事業実施主体である国際競争力強化技術開発プロジェクト「安全安心な農業用ハイスペックドローン及び利用技術の開発」を受託(2021年6月)したハイスペックドローン開発コンソーシアムの事業で開発された機体をベースにしております。
※ハイスペックドローン開発コンソーシアム
代表機関:ヤマハ発動機株式会社
共同研究機関:(企業)株式会社ザクティ、株式会社ゼクティエンジニアリングサービス、株式会社ナイルワークス、ケンマアグリ株式会社
(研究機関)農研機構、大分県農林水産研究開発センター、鹿児島県農業開発総合センター、佐賀県農業試験研究センター、長崎県農林技術開発センター

理想の散布経路をデザインする

様々なタイプの自動飛行を実現

飛行経路は、スマートフォンを使い、オンデマンドですぐに自動生成されます。高度・散布幅・外周回数・散布流量・飛行方向を設定でき、様々なタイプの飛行を実現します。



作業効率20%アップ

同圃場形状において、旧機種とNile-JZの飛行を比較したところ、作業効率20%アップに成功しました。より効率よく、散布が可能になりました。

進化し続ける機能

農業現場の声に寄り添い、随時、ソフトウェアをアップデートします。機能改善や新機能の追加を行うことで、よりスマートに、Nile-JZを活用し続けられます。



データを活用して、可変散布

衛星データや生育監視ドローンと連携できます。取得したデータを活用して、必要なエリアに、必要な量の散布を実現します。

ドローンの使用方法



圃場を歩いて測量
測量機を使い、事前に、圃場や障害物を測量します。



ドローンを準備
ドローン/バッテリー/プロポ・スマートフォンを準備します。



簡単操作で飛行
飛行経路は自動生成され、ドローンは自動飛行します。

簡単操作!



更に詳しく

Nile-JZ

製品情報サイトはこちら



※可変散布は「Nile-JZ Plus」のみ可能です。

3. 特記事項(得意技術以外にPRしたい事項 例:特許情報、応用分野、表彰・認定)

本製品は、国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構(農研機構/NARO)が事業実施主体である国際競争力強化技術開発プロジェクト「安全安心な農業用ハイスペックドローン及び利用技術の開発」を受託(2021年6月)したハイスペックドローン開発コンソーシアムの事業で開発された機体をベースにしております